

武雄温泉 森のリゾートホテル

贈呈理由

給湯ボイラに循環加温ヒートポンプを追加した設備改善による省エネルギーを実現

宿泊・
温泉施設



ヒートポンプ給湯



武雄温泉 森のリゾートホテル

燃料費の高騰をきっかけに 温泉水の加温方式を見直す

2017年2月にリニューアルオープンした「武雄温泉 森のリゾートホテル」は、人と森と温泉、そして、至極のぬくもりの提供がコンセプト。雄大な山々と森に包まれ、湖畔にたたずむ北欧リゾートのような雰囲気、鳥のさえずりや風に揺らぐ木々の音色など、自然を感じながらゆったりとした時間を過ごすことができる。併設のチャペルで行われる「モリノネブライダル」も好評だ。

同ホテルのある武雄温泉は、さまざまな成分が程よく入った弱アルカリ単純泉で、保温性に優れ透明で柔らかな湯触りが特徴である。昔から「美人の湯」と呼ばれ、その歴史はおよそ1300年を有する。

省エネルギーと環境負荷低減を 図る循環加温ヒートポンプ

同ホテルは従来から、温泉水の加温

用に灯油ボイラを使用してきたが、近年は燃料費の高騰に頭を悩ませていた。燃料費削減の検討を行っていたところ、企画コンサルティングを担当する株式会社スマート・リソースから電気で加温する循環加温ヒートポンプ追加の提案があり、省エネルギーや環境性に加え、初期投資費用の削減にも重きを置き総合的に評価した結果、変動報酬型ESCO契約による採用を決定した。

新設した循環加温ヒートポンプを加温のベースとし、既設の灯油ボイラで変動分をまかなう運用方法に変更したところ、CO₂排出量の削減と燃料費削減

を両立することができた。

今後は、省エネルギーの推進と環境負荷低減を図るとともに、佐賀県初のグリーンリゾート施設として地元住民に喜ばれ、地域の資産となるような施設を目指す。

一次エネルギー消費量削減効果

従来システム	年間灯油使用量: 87,480L 一次エネルギー消費量: 3,211GJ
採用システム	年間灯油使用量: 48,456L 年間電力使用量: 125,823kWh 一次エネルギー消費量: 3,006GJ



【諸元】「エネルギーの使用の合理化に関する法律施行規則」



循環加温ヒートポンプの室外機

武雄温泉 森のリゾートホテル

所在地: 佐賀県武雄市武雄町大字永島
15750-1

企画コンサルティング: 株式会社スマート・リソース
竣工: 2015年11月更新

■ 設備概要

循環加温ヒートポンプ 14kW×3台【東芝キャリア】